

緑の担い手

林業の魅力を伝えたい

美和木材協同組合
堀江裕介

私が林業を始めてから15年が経ちました。自然いっぱい的大子町に生まれ林業に興味を持ち、大子清流高校の森林科学科を卒業して美和木材協同組合に就職しました。

最初のうちは思った以上に危険で大変な仕事であったため、続けられるかどうか不安でしたが、優しい先輩方の指導とフォローのおかげで15年間林業を続けることができました。

現在は、主にグラップルを使用し集材の作業をしています。残存木を傷つけないように、また、造材しやすいように集材するのが難しいですが、毎回違うシチュエーションで楽しみながら作業しています。

数年前に「フォレストマネージャー」の研修を受け、他県の林業事業者の方々といろいろな意見交換をし、コスト管理や低コスト化、人材育成などの話が出てきて、とても有意義な時間を過ごすことができました。

今は「緑の雇用」の指導員の立場になりましたが、知っていることと

は別に、教えることの難しさを痛感しています。

伐倒や高性能林業機械の操作は、感覚的な面が多く、言語化して指導することが難しいこともあります。「フォレストリーダー」、「フォレストマネージャー」の研修で学んだ技術と知識、15年間の林業で培った経験を活かして、作業においては安全第一を基本として、研修生に林業の魅力を伝えていきたいと考えています。

最後になりますが、森林は私たちの貴重な資源であり財産です。その限りある財産をきちんと整備しながら有効的に活用し、後世に残していきたいような仕事をしたいと思います。



毎日の作業は重機と共に